

千葉市から千葉県を元気に!!

小川としゆき 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会
〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話 043(227)7411

千葉市への一部事業県単独補助金

補助率の見直し要望

他の市町村と同率に



登壇し、県の施策について質問する小川としゆき県議

2月定例県議会一般質問

県議会へ歩みを進めて以来、早くも6回目の一般質問に臨んだ小川としゆき県議（千葉市若葉区選出、1期）は県市間の連携やスポーツ振興、河川維持管理、警察署の老朽化対策など、広範な質問を行いました。小川県議は、千葉市緑区の昭和の森から印旛沼までを流れる鹿島川について、近年の地球温暖化での集中豪雨による氾濫が懸念されるとして、千葉市内の上流部における適切な維持管理を要望しました。小川県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

小川議員 県単独補助金については、平成4年、千葉市が政令市移行にあたり、交付対象外となっている。ただ、政令市といえども、市民は県民税を負担しており、相応の県民サービスを受けることは、当然の権利であることから、その後も県市間において継続的に協議を重ねてきた。

その結果、子ども医療費助成事業の補助率など改善が図られてきたものもあるが、公立学校給食費無償化支援事業など、新規に創設・拡充された県単独補助金においても、特に合理的な理由もなく、他市町村と異なる取り扱いを受けているケースも依然として見られる。このようなケースは、千葉市の試算によると、令和7年度予算ベースで38件存在し、影響額は21億円以上に及んでいる。

神奈川県では、特に懸案となった事業について、政令市・中核市の取り扱いを県内他市町村と同様とする見直しを行ったとうかがっており、非常にうらやましく、千葉県でも見直しをしてほしいと思う。

そこだろうか、千葉市を他の市町村と比較して

低い補助率とする県単独補助金が散見されるが、県の考えはどうか。

総務部長 千葉市の県単独補助金の取り扱いについては、政令指定都市への移行に伴い、国から交付される財源の増額等により、市の財政基盤の強化が図られること等を踏まえ、県市間で協議を行い整理しました。その上で、県政を運営するにあたり、政令指定都市が果たす役割は大きいことから、他の自治体の対応も参考にしながら、既存事業の見直しや、新規事業の創設の際に、県市間で県単独補助金について協議してきたところ。引き続き、関係部局において、県単独補助金のお取り扱いについても真摯に対応するとともに、様々な行政課題について県民の期待に応えられるよう、より一層千葉市と緊密な協力関係を築いてまいります。

要望 **小川議員** 子ども医療費助成事業補助金と重度心身障害者児医療給付改善事業費補助金の補助率見直しについて、神奈川県の見直しを参考に、千葉市を公平に取り扱うよう強く要望する。

イコアス千城台を拠点に 一層の地域連携を

小川議員 かつての千葉県都市公社、現在の千葉県まちづくり公社が、千葉都市モノレール千城台駅前にオープンさせたラパーク千城台が、令和2年にリニューアルしたイコアス千城台は、千城台地区の中心的拠点施設として、多くの方に利用していただいている。そこだろうか、イコアス千城台が千城台駅周辺のまちづくりに寄与するための取組について、県はどのように考えているのか。

県土整備部長 千葉県まちづくり公社では、千城台駅周辺の商業と文化の中心施設として地域社会の発展に貢献することを目的に商業施設を建設し、イコアス千城台として管理運営しています。

施設には衣食住関連の店舗に加え、千葉市の地域包括

支援センターや子育て支援拠点といった地域住民の生活を支える施設が同居するほか、自治会や学校関連のイベント、また、市の情報発信の場としても館内スペースが活用されていることから、県としては、地域との連携が十分に図られた取組になっているものと考えています。

要望 **小川議員** 県が積極的に地域社会発展のためへの協力姿勢を打ち出していくことによって、周辺地域のまちづくりにおいても、また違った発想や展開ができるのではないかと期待しているので、より一層の地域連携を要望する。

●千葉市と千葉県政に関するご要望をお寄せください。

小川としゆき 県議事務所

〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町1032-81
TEL. 043-232-1435

ホームページもご覧ください▶ <https://www.ogatoshi.com>

千葉市内の鹿島川上流部

適切な維持管理必要

小川議員 鹿島川は、水源を千葉市緑区土気の昭和の森に発し、若葉区の水田地帯を経由して印旛沼に注ぐ、延長18・9キロメートルの一級河川。

床下浸水などの被害を受けたことから、地元からは不安の声が寄せられている。

近年の地球温暖化による水被害の激甚化、頻発化を踏まえ、まずは現在の河川の機能を確実に維持し、適切に管理することが重要。

千葉市内の鹿島川については、谷当橋から新橋までの約2キロメートル区間において河岸の侵食等が見られる箇所から、順次、対策を進めており、これまで左岸右岸合わせて約1キロメートルの工事が完了したところ

です。河川の治水機能を維持するため、定期的な巡視等によ

り河道状況を把握し、優先度の高い箇所から順次、対策工事を実施しています。

千葉市内の鹿島川については、谷当橋から新橋までの約2キロメートル区間において河岸の侵食等が見られる箇所から、順次、対策を進めており、これまで左岸右岸合わせて約1キロメートルの工事が完了したところ

です。河川の治水機能を維持するため、定期的な巡視等によ

下流部については、「印旛沼開発事業」で湖岸堤が整備されるとともに河道も整備された。一方、上流部の千葉市内に目を向けると、昭和50年の農林事業で河道が整備されたが、令和5年9月の大雨では若葉区の谷当地区において2棟が

水被害の激甚化、頻発化を踏まえ、まずは現在の河川の機能を確実に維持し、適切に管理することが重要。

千葉市内の鹿島川については、谷当橋から新橋までの約2キロメートル区間において河岸の侵食等が見られる箇所から、順次、対策を進めており、これまで左岸右岸合わせて約1キロメートルの工事が完了したところ

です。河川の治水機能を維持するため、定期的な巡視等によ

り河道状況を把握し、優先度の高い箇所から順次、対策工事を実施しています。

千葉市内の鹿島川については、谷当橋から新橋までの約2キロメートル区間において河岸の侵食等が見られる箇所から、順次、対策を進めており、これまで左岸右岸合わせて約1キロメートルの工事が完了したところ

です。河川の治水機能を維持するため、定期的な巡視等によ

り河道状況を把握し、優先度の高い箇所から順次、対策工事を実施しています。

スポーツで交流、地域活性化

小川議員 スポーツを通じて交流促進や地域振興にどのような取り組みでいるのか。

スポーツ・文化局長 県民の交流の場の創出のほか、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

また、本県には多くのプロスポーツチームがあることから、各チームと連携し、て、児童・生徒の公式戦への招待や小中学校への派遣により選手と子どもたちとの交流を行っており、引き続き、スポーツと地域の魅力を掛け合わせることで、スポーツを通じて交流促進や地域振興に取り組んでまいります。

アーバンスポーツ出張体験会も開催

小川議員 東京2020オリンピック競技大会でスケートボード、スポーツクライミング、バスケ、ボール3×3が正式種目となったことを機に注目を浴びているアーバンスポーツの振興にかかる取組状況は

どうか。また今後どのような取組を考えているのか。

スポーツ・文化局長 県では、令和4年度から、アーバンスポーツの魅力発信するため、プロアスリート等による迫力あるパフォーマンスの披露や初心者向けの体験会を県内各地で開催しており、これまでに約3700人が観覧し、約1200人が実際に競技を体験しました。

今年度は、家族や若者が参加しやすい商業施設等で3×3やBMXなど複数の競技を一度に体験できるアーバンスポーツフェスタを開催しており、これまでに、幕張で5競技、成田で3競技を実施し、来月には千葉公園で3競技の実施を予定しています。

こうした取組により、アーバンスポーツへの関心が高まってきたことから、来年度は、市町村等が主催する祭りやイベントのほか、子ども会や大学のサークル等に講師を派遣し、競技の魅力やマナーを学んでもらう出張体験会の実施を予定しており、身近な地域で継続的にアーバンスポーツに取り組める環境づくりを進めてまいります。

要望 近年、入札不調が続いているので、利用者の利便性向上が図れる内容にし、計画通りに施工できるよう、予算をしっかりと確保いただくことを強く要望する。



県執行部に要望する小川県議

要望 だが、河川改修はど

小川議員 鹿島川

最も多く、縄文貝塚の魅力発信

果的に発信するイベントを行う「縄文貝塚発信プロジェクト事業」を令和8年度当初予算に計上しました。

小川議員 今後の事業を展開するうえで、受け手側の立場に立つた、わかりやすく、興味を引き、誰かに話したくなるような発信に努めていただきたい。

改修、9年度着工

小川議員 老朽化が進んでいる警察施設は利用する県民も不便を強いられている。治安維持を担う警察官のパフォーマンスを高めるために、快適で働きやすい職場となるよう、早期整備を望む。

そこで、千葉東警察署について、施設改修の計画はどうか。

警察本部長 千葉東警察署は、現在大規模改修の設計を行っております。

この改修では、現警察署の骨組みを残し、全面的に改修する予定であり、建物の構造的な制約からエレベーターを設置することはできませんが、階段を上ることが困難な方の利便性を考慮し、1階に相談室を設けるなど、利用者に配慮した設計を進めています。

今後の工程は、令和9年度に仮設庁舎を含めた工事に着手し、工事期間は3年を予定しております。

要望 近年、入札不調が続いているので、利用者の利便性向上が図れる内容にし、計画通りに施工できるよう、予算をしっかりと確保いただくことを強く要望する。